

1 概要

静岡県は、令和6年2月24日、静岡市清水区の清水テルサにおいて「**三保松原の景観改善 10周年記念シンポジウム**」を開催しました。

このイベントは、平成25年6月の富士山世界文化遺産登録後、三保松原の前面に設置された消波堤の景観改善に取り組んで10年の節目を契機に、海岸事業に対する県民の皆様の理解と関心を深めるとともに、三保松原を未来へつないでいくための交流を図ることを目的としたイベントです。

当日は、日本大学理工学部岡田智秀教授による基調講演やパネルディスカッション、パネル展示や物販を行い、**約150人**が来場し、三保松原について学び交流を深めました。

【日時】 令和6年2月24日(土) 13:30～16:00

【場所】 清水テルサ テルサホール(静岡市清水区島崎町223)

【主催】 静岡県(事務局:河川企画課、静岡土木事務所)

【共催】 静岡市 【協賛】 静岡県河川協会 【後援】 (一財)三保松原保全研究所

【協力】 国交省静岡河川事務所、(一社)三保松原3ringsプロジェクト、(株)Otono、(株)ふかくら ほか

2 開催状況

(1) 基調講演 『海岸景観とまちづくり』 日本大学理工学部まちづくり工学科 岡田 智秀 教授



(2) パネルディスカッション 『三保松原の景観をまちづくりにどう活かすか』

コーディネーター 岡田 智秀 氏

パネリスト 藤田 尚徳 氏 (一社)三保松原3ringsプロジェクト 代表理事・(株)なすび 専務取締役

合志 明倫 氏 (株)gosea's 代表取締役・プロウインドサーファー・東海大学客員准教授

望月 哲也 氏 静岡市観光交流文化局長

勝又 泰宏 氏 静岡県交通基盤部長



藤田 尚徳 氏



合志 明倫 氏



意見交換の様子

【パネルディスカッションのまとめ】

- ・ **地道に取り組むこと、地域の既存ストックをいかに活用していくか**が大事であるということを確認できた。
- ・ 芸術やスポーツを景観を映し出す鏡として用いることで三保が現代文化の源泉であるということがアピールできる。
- ・ 世界文化遺産登録10周年の**今日を新たなスタート**として、引き続き皆さんと語り合いながら取り組んでいく。

(3) パネル展示・物販

(一社)三保松原3ringsプロジェクト、(株)gosea's、静岡市三保松原文化創造センター「みほしるべ」など計11団体が三保松原に関する取組等についてパネル展示を行いました。また、みほしるべミュージアムショップの出張販売、新ご当地グルメ「三保バーガー」の販売を行いました。



パネル展示の様子



みほしるべミュージアムショップの出張販売



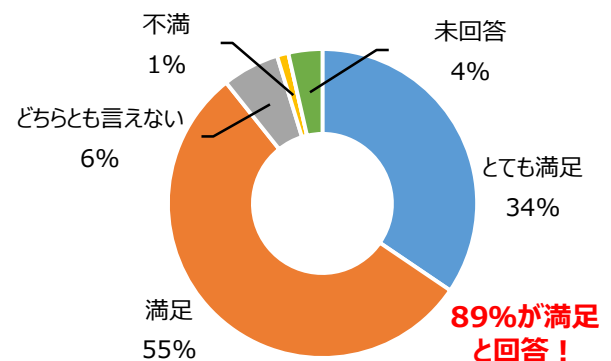
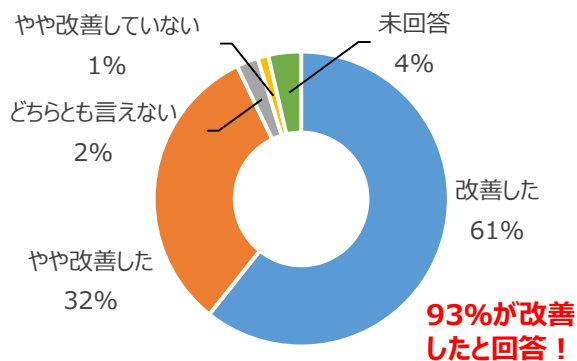
三保バーガーの販売

(4) 来場者アンケート

来場者に対して、三保松原の景観改善とシンポジウムに関するアンケートを行い、84人から回答を得ました。

【問】1号消波堤の撤去前後で景観が改善したと感じるか。

【問】今回のシンポジウムの満足度は。



3 サンドバイパス大作戦 in 三保 (関連イベント)

シンポジウムの関連イベントとして、令和6年2月17日、梅ヶ島と三保松原を会場に「**サンドバイパス大作戦 in 三保**」を開催しました。

このイベントは、静岡市内在住の小学生とその保護者を対象に、安倍川上流の土砂をマイクロバスで三保松原まで運んでもらうことで、川と海のつながりや自然の持つダイナミズムを体感してもらうことを目的としたイベントです。

当日は、小学生11人と保護者9人の合わせて**20人**が参加し、安倍川の砂防事業や清水海岸の侵食対策について学びました。



土を運んでいる様子



土置きの様子



土を運んだ容器を利用した
キャンドルナイト